

# 森林やまがた

No.152

2014.7



## 目 次

やまがた森の感謝祭2014を開催:	2
山形県森林・林業功労者のご紹介	4
保安林、林地開発許可制度について	5
森林関係災害発生状況及び山地災害の危険信号について	6
映画「WOOD JOB!(ウッジョブ!)~神去りなあなあ日常~」の上映を起点とした森林・林業の普及啓発について	7
みどりのページ	
緑の募金出発式	8
NDソフトスタジアムでの緑の募金活動	8
平成26年度緑化推進事業助成金の交付決定について	9
荒廃森林緊急整備事業について	10

普及情報	
チェーンソー・メンテナンスのポイント	11
森の人紹介	

富岡正之さん・長谷川義晃さん	12
第38回全国育樹祭の準備状況	13
ポケット版「森のたんけん手帳」を作成しました	14
木造公共施設の整備と木質バイオマスボイラーの導入	15
今年もやります「おきたま森の恵み起業塾」	15
クロマツコンテナ苗木生産技術定着化事業について	16
山形県の古木・名木、公共木造施設	17
丸太価格・製材品価格の推移	18

# 「やまがた森の感謝祭2014」を開催



山形県では、六月の第一土曜日を「やまがた森の日」と定め、緑豊かな自然環境の恩恵に感謝するとともに、県民各層の参加・連携・協働による県民みんなで支える森づくりを推進するため、やまがた森の感謝祭を開催しています。今年度は、六月七日に「山形県源流の森」を会場に開催しましたので紹介します。

副知事と会場全員で「森づくりがんばろう宣言」を行いました。この宣言は、自然を守り育て、暮らしの中で活かすことの大切さを県民の皆様にご理解いただくことを目的に開催しました。また、十月十二日（日）に金山町の「山形県遊学の森」で開催する第三十八回全国育樹祭のプレ育樹祭に位置付け、県民みんなで盛り上げるプログラムも用意しました。オープニングアトラクションとして、地元のアルプホルンクラブの演奏や飯豊町内の幼稚園児・保育園児による飯豊町のイメージソング「めざみ」に合わせたダンスが披露され、その後、園児たちがドングリの実から育てた苗木を主催者に託し、幕を開けました。

式典では、主催者を代表して、細谷副知事が「この感謝祭が緑でつなぐ心の絆を育み、県民の皆様の森づくりの輪が大きく広がる契機となることを祈念します」と挨拶しました。

次に、森林・林業労働者表彰が行われました。地域林業や森づくり活動に貢献された、米沢市の関生産森

今年の感謝祭は、「育てよう 緑でつなぐ 心の絆」をテーマに、森や自然を守り育て、暮らしの中で活かすことの大切さを県民の皆様にご理解いただくことを目的に開催しました。また、十月十二日（日）に金山町の「山形県遊学の森」で開催する第三十八回全国育樹祭のプレ育樹祭に位置付け、県民みんなで盛り上げるプログラムも用意しました。

オープニングアトラクションとして、地元のアルプホルンクラブの演奏や飯豊町内の幼稚園児・保育園児による飯豊町のイメージソング「めざみ」に合わせたダンスが披露され、その後、園児たちがドングリの実から育てた苗木を主催者に託し、幕を開けました。

式典では、主催者を代表して、細谷副知事が「この感謝祭が緑でつなぐ心の絆を育み、県民の皆様の森づくりの輪が大きく広がる契機となることを祈念します」と挨拶しました。

次に、森林・林業労働者表彰が行



株式会社ウンノハウスとの  
「やまがた絆の森」協定書の披露

認証制度による認証書が贈られました。この認証制度は、木質バイオマスの活用や森づくり活動など企業の温室効果ガス削減に対する貢献を数えた。また、十月十二日（日）に金山町の「山形県遊学の森」で開催する第三十八回全国育樹祭のプレ育樹祭に位置付け、県民みんなで盛り上げるプログラムも用意しました。

オープニングアトラクションとして、地元のアルプホルンクラブの演奏や飯豊町内の幼稚園児・保育園児による飯豊町のイメージソング「めざみ」に合わせたダンスが披露され、その後、園児たちがドングリの実から育てた苗木を主催者に託し、幕を開けました。

式典では、主催者を代表して、細谷副知事が「この感謝祭が緑でつなぐ心の絆を育み、県民の皆様の森づくりの輪が大きく広がる契機となることを祈念します」と挨拶しました。

次に、森林・林業労働者表彰が行

続いて、株式会社ウンノハウスと県が締結する二期目の「やまがた絆の森協定」が紹介されました。株式会社ウンノハウスが認証書を受け取りました。

式典の最後には、緑の少年団の子供たちや森林ボランティアリーダーと副知事が一緒に、森を育て、暮らしや産業に活かしながら森づくりの輪を広げていく「森づくりがんばろう宣言」を力強く宣言しました。

式典終了後は、主催者や来賓、受賞者、「いいで緑の少年団」が一緒に

林組合、飯豊町の渡部岩次（わたなべいわじ）氏、東根市立東根小学校、舟形町のブナの実21に、知事感謝状が贈られました。

また、山形県CO<sub>2</sub>森林吸収量等評価認証制度による認証書が贈られました。この認証制度は、木質バイオマスの活用や森づくり活動など企業の温室効果ガス削減に対する貢献を数値化して広く普及するもので、木質バイオマスの利用部門では、十四団体が認証され、代表して社会福祉法人高畠仏教昭和会なかよし保育園と株式会社ウンノハウスが認証書を受け取りました。

式典の最後には、緑の少年団の子供たちや森林ボランティアリーダーと副知事が一緒に、森を育て、暮らしや産業に活かしながら森づくりの輪を広げていく「森づくりがんばろう宣言」を力強く宣言しました。

式典終了後は、主催者や来賓、受賞者、「いいで緑の少年団」が一緒に

手渡され、今年度の森づくりリレーがスタートしました。

また、第三十八回全国育樹祭のシンボルマークの入った新リレー旗が副知事から「いいで緑の少年団」に

なって「ヤマモミジ」の記念植樹を行いました。



緑の少年団に託された新リレー旗

式典終了後は、主催者や来賓、受賞者、「いいで緑の少年団」が一緒に

手渡され、今年度の森づくりリレーがスタートしました。

また、全国育樹祭の成功を祈って、式典会場を飾る木製プランターを、緑の少年団や一般参加者の皆さんに作っていただきました。

さらに、森づくり活動では、大きく育つてほしいとの願いを込めてスギの植樹や枝打ちが行われました。



育樹祭会場を飾るプランター作り

D C キヤンペーンキヤラクターきてけろくなどが会場内を周り、子供たちに大変好評でした。



森づくり活動でスギを植栽

このほかにも、子供たちを対象に、協賛企業のご厚意により提供いただき景品が当たる「森の大抽選会」

が行われ、大いに盛り上りました。時折小雨の降る中での感謝祭でしたが、千人を超える多くの方々に参加いただき、森林の中で楽しい一日を満喫されたことと思います。

〔県みどり自然課〕

## 「やまがた森の感謝祭」に寄贈いただきありがとうございました

### ◆山形トヨペット株式会社

「やまがた森の感謝祭」

の開催に先立ち、五月三十日に山形トヨペット株式会

社の鈴木寿昭社長と緑の大

使であるミス・インターナショナル日本代表の本郷李來さんが来庁され、ソメイヨシノとヤマモミジの苗木合わせて百本と森づくり活動で使用する児童用ヘルメット五十個を、知事に贈呈していただきました。

贈られた苗木は、感謝祭等で植樹しました。

また、児童用ヘルメットは、各地で行われる森づくり活動で活用させていただきます。

### □株式会社NTTドコモ 東北支社

六月二日、株式会社NTTドコモ東北支社の相沢そのみ山形支店長が来庁され、感謝祭で植樹するスギの苗木購入費等として、十万円を寄附していただきました。



株式会社NTTドコモ東北支社  
相沢そのみ山形支店長



山形トヨペット株式会社 鈴木寿昭社長と  
ミス・インターナショナル日本代表 本郷李來さん



平成二十六年度

## 山形県森林・林業功労者の紹介

### ◆はじめに

森林・林業功労者につきましては、毎年、森林・林業の振興及び緑化推進等に顕著な功績があつた個人や団体を対象に、

の振興に大きく貢献しています。また、森林を利用できる「森林オーナー制度」を導入し、市民の林業に対する理解の促進に努めています。

### 「森林づくり」部門

#### 一 「森林保護保全」部門

#### 二 「山村・林業の振興」部門

#### 三 「木材・林産の振興」部門

#### 四 「木材・林産の振興」部門

#### 五 「緑化の推進」部門

#### 六 「県民参加の森づくり」部門

今年度は、一個人と三団体が選出さ

れ、六月七日（土）山形県源流の

森（飯豊町）で開催された「森の感謝

祭2014」において、細谷知行副

知事から感謝状が贈呈されました。

選出された皆様と、功績の概要是次のとおりです。

### ◆「森林づくり」部門

#### 関生産森林組合

所有林（千二百十石）の適正な維持管理に努めているほか、米沢市白布地区の生活環境保全林の維持管理や林道の管理を行うなど、地域林業

の振興に大きく貢献しています。また、森林を利用できる「森林オーナー制度」を導入し、市民の林業に対する理解の促進に努めています。



◆「木材・林産の振興」部門

東根市立東根小学校

学校敷地内にある国の特別記念物「大ケヤキ」を教育活動に取り入れ、苗木を育成し、栃木県足尾町の荒廃地や地域での植樹活動を行なうとともに、落葉を堆肥化し地域の希望者へ提供するなど、緑化活動を行なっています。また、十月十二日に金山町で開催される第三十八回全国育樹祭



か、山形大学の自然環境学習の指導を行うなど、大学と連携した里地里山の保全と再生を推進しています。

### ◆おわりに

皆様の、今後のご活躍をご期待申し上げます。

の式典で県外の緑の少年団に贈呈される苗木も育てています。

### ◆「県民参加の森づくり」部門

#### ブナの実21

「癒しの里づくり」を目的に、湿原への木道設置や炭窯の再生、散策道の整備など里地里山の再生に積極的に取り組むほか、舟形町内の小中学校と連携して森林環境体験学習を行っています。また、震災被災者の避難施設等で親子の絆づくり等を目的とした「森の積み木広場」の提供を行なうなど被災地支援に取り組む

学校と連携して森林環境体験学習を行っています。また、震災被災者の避難施設等で親子の絆づくり等を目的とした「森の積み木広場」の提供を行なうなど被災地支援に取り組む

# 保安林、林地開発許可制度について

## ◆はじめに

国や県では森林法に基づき、水源の涵養、災害の防備、生活環境の保全等の公益的機能の特に高い森林を「保安林」に指定し、伐採や開発行為を制限するなど、その機能が損なわることのないように適切に管理しています。また、保安林以外の普通林の開発についても、無秩序な開発行為による森林の荒廃を防ぐため、「林地開発許可制度」により一定のルールが定められています。ここで、この二つの制度についてご紹介します。

## ◆保安林制度の概要

保安林の種類は目的別に十七種類あり、県内では十三種類四十一万ヘクタールの森林が保安林に指定されています。これは県内の全森林面積の約六割に当たります。国有林、民有林別に見ると、国有林が約三十四万二千ヘクタール、民有林が約六万八千ヘクタールとなつておらず、国有林が保安林の八割を占めています。伐採や開発により森林の公益的機能が低下すると、災害等の発生が懸念されます。例えば土砂の流出量を

森林と裸地で比較した場合、森林は裸地の百五十分の一という報告があります。保安林はこのような機能の高い森林ですので、保安林に指定されると伐採や開発行為の制限を受けます。主な行為制限の内容は次のとおりです。

① 立木の伐採の方法及び限度、伐採跡地への植栽の方法（指定施業要件）が定められます。

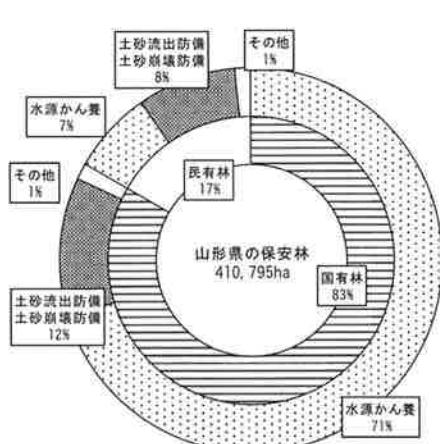
② 保安林内で立木の伐採や土地の形質を変更する行為を行う場合は、知事の許可が必要です。

③ 保安林の他の用途への転用は道路建設等の「公益上の理由」又は保安林の消滅等の「指定理由の消滅」の時に限られます。

## ◆林地開発許可制度の概要

保安林以外の普通林においても、土石の採掘や林地以外への転用などを超える開発行為を行う場合は知事の許可が必要です。対象となる森林は知事が樹立した地域森林計画の対象となる民有林で、保安林と国有林を除くほとんどの森林が該当します。現在県内では、百二十二件の林地開発行為が行われており、うち土石の採取が百六件と大半を占めています。

また、一ヘクタール以下の小規模な開発行為を行う場合には、許可是必要ありませんが、森林開発の実態を把握するため、開発行為者に「小規模林地開発計画書」の提出をお願いしています。



## ◆今後の課題

平成二十五年度より「山形県水資源保全条例」が施行され、「水資源保全地域」が指定されるなど、水源地の保全が重要な課題となっています。

また、再生可能エネルギー活用の機運の高まりから、森林内の発電施設の設置の動きも出てきました。

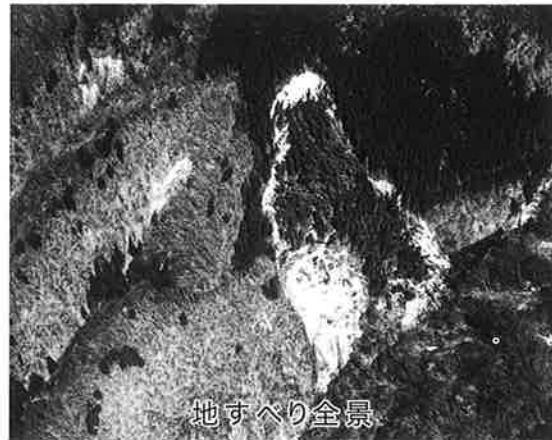
県としては、森林所有者の同意を得ながら、水源地等の重要な森林を保安林に指定するとともに、制度に沿った開発行為が行われるよう指導を行っていきます。保安林、林地開

発許可制度についてのご相談は最寄の総合支庁森林整備課にお問い合わせください。

〔県林業振興課〕



## 森林関係災害発生状況及び山地災害の危険信号について



地すべり全景



ダムアップの状況

◆はじめに  
全国的に見て比較的災害の少ない本県ですが、平成二十五年は、七月の記録的な大雨により、森林関係で二十五市町村において、二十億円を超える被害が発生しました。特に白鷹町、西川町、大江町、南陽市、村山市などで被害が甚大となりました。(被害の詳細は一五〇号参照)また、農林水産関係の被害総額は七十九億円に上り大雨による被害としては昭和六十一年以降最大となりました。被災箇所については、昨年度から順次、復旧工事を実施しています。

◆山地災害の危険信号  
災害はいつ何時起るか分かりません。ここでは、皆様方もすでにご存知かと思いますが、もう一度、山地災害の危険信号を確認してみましょう。

山地災害が起こる多くの場合、山の斜面や川のにぎり具合などをよく観察してみると、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。  
○川がにごり、木の枝などが混ざりはじめた。  
●上流で山くずれが発生?  
○雨が降り続いているのに川の水位が下がった。  
●山くずれにより川(沢)をせき止め氾濫の危険がある。

◆平成二十六年融雪災害  
今年の融雪による灾害は大江町であります。その概要是次のとおりです。

四月十八日に大江町大字貫見地内の山腹で幅百m、長さ二百五十mにわたり地すべりが発生しました。崩落した土砂は倒木とともに沢を塞いで、ダムアップしており、その後の降雨等により閉塞土砂が決壊し、土

止のため応急工事として、県単独事業で簡易谷止工を設置するとともに、一級河川月布川への土砂の流入防止等のため、災害関連緊急地すべり防止事業の採択に向け、六月現在、林野庁と協議中です。また、事業費決定後速やかに工事に着手し、地域の安全を確保してまいります。

◆上流の沢の山くずれが原因?  
○地鳴りの音が聞こえてきた。  
●山くずれ発生のサイン?  
※山地災害防止PR用パンフレット引用(日本治山治水協会発行)  
などの危険信号があります。中でも川のにごりなどは比較的容易に見ることが出来ますので、注意して観察してみてはいかがでしょう。

◆おわりに  
今年は例年に比べ梅雨入りが早くその分、降雨期が長くなることが予想されます。また、近年七、八月に集中豪雨が頻発に発生しており、山地災害の発生が危惧されるところであります。万が一、災害が発生した場合は、スピード感を持って復旧対策を取り組んでまいりますので、皆様方の御協力のほどよろしくお願ひいたします。

石流の発生が危惧される非常に危険な状況です。県では、応急工事として五月連休明けに、農道のヒューム管の閉塞防

止のため地すべりや山くずれの前ぶれ?がつてきました。

## 映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!)」の上映を起点とした森林・林業の普及啓発について

### ◆はじめに

林業をテーマにした映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!)」が五月十日から上映されています。この映画は、林業研修プログラムに参加することになった青年が、まわりの人々に支えられ、林業に携わりながら、山村での生活を通して成長する物語を描いています。県では、この秋に金山町で開催される第三十八回全国育樹祭に向けた森づくり気運の醸成と「やまがた森林ノミクス」による林業の振興を図るため、この映画の上映を起点として、林業や森づくりのPR活動に取組んでいくこととしていますので、その取り組みについて紹介します。

### ◆映画館でのパネル展示、緑化木、木工品のプレゼント

映画上映初日となつた五月十日、県内の六つの映画館での同時イベントとして、緑化木、木工品のプレゼントを行つたほか、ムービーオンやまがたでは、映画に登場するチエンソーを使った記念撮影所や木々から



抽出したアロマオイルを楽しむコーナーを設置し、多くの親子連れで賑わいました。また、約一カ月かけて県内の映画館を巡回したパネル展示では、多くの方が足を止め、林業に興味を持つてご覧いただきました。

◆「源流の森」で林業体験会を開催  
六月十五日に飯豊町須郷地区の「源流の森」にて、約二十名の方からご参加いただき、間伐、下刈などの林業体験や間伐材を利用した木工クラフト、源流の森周辺で採れた山菜を使った「森の恵み・山菜汁」の試食を行いました。映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!)」さながらの林業家による迫力ある間伐のデモンストレーションも行われ、普段は見学できない林業の現場とその迫力に、参加者からは、長い時間と多くの手間をかけて森林を育てることと、木を使うことは、実はつながつていて、一日を通して楽しみながら森の魅力を体験できたという、うれしい感想をいただきました。



### ◆おわりに

県では、映画終了後も、さまざまな機会をとらえ、多くの関係者と連携し、森林・林業の普及啓発に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

〔県林業振興課〕

### ◆今後の普及啓発スケジュール

時 期	項 目	内 容
6月～9月	山形の林業＆みどり環境PRキャラバン	○ショッピングモールなど、県内各地で普及啓発活動を実施
7月下旬	夏休み親子森林探検の旅	○親子で森林の不思議を学ぶ森林環境学習
6月～9月	ウッジョブ体験会	○高校での林業研修 ・刈払機の基本操作と刈払い実習 ・チェーンソーの基本操作と間伐体験実習 等
10/11	育林交流集会（併催行事）	○飯豊町市民総合センター「あーす」 県内外約500名参加
10/12	第38回全国育樹祭	○「遊学の森」 県内外約5,000名参加
10/12、13	森林・林業・環境機械展示実演会（記念行事）	○「新庄中核工業団地」 県内外約7,000名参加
10/25、26	山形県林業まつり	○森林・林業のPR、木材、林産物の利用促進PR
10月下旬	きのこ等の保存の知恵講習	○暮らしとつなげる森林の恵みを保存する技術と先人の知恵を学ぶ講習会 ・対象者 県内の高校生 約30人



みどりのページ

## 緑の募金出発式



保育園児による緑のメッセージ

毎年春の恒例行事となっている緑の募金街頭キャンペーン出発式が、今年も四月二十二日（火）に文翔館前広場で開催されました。出発式では、募金に功績のあつた団体への感謝状の贈呈や保育園児による緑のメッセージなどの後、保育園児が大事に育てたどんぐりの苗木が当財団の細野理事長に手渡されました。さらに、西洋シャクナゲの苗木二百五十鉢が市民にプレゼントされ、平成二十六年度の緑の募金街頭キャンペーンは華やかなスタートを切ることができました。



村山産業高校の生徒による募金活動の様子

モンテディオ山形のホームゲーム開催に併せ、五月三日（土）にNDソフトスタジアムの周辺で緑の募金活動を行いました。この日は、ゴルデンウイークの期間中ということ

### NDソフトスタジアムでの緑の募金活動

- ◆街頭募金にご協力いただいたボランティア団体
- ・成澤グリーンフィールド協力隊
- ・山形グリーンライフ女性の会
- ・山形県緑を育てる女性の会

### ◆街頭募金の実績額

四万四千百十一円

### 緑の募金に御協力いただいた企業・団体のみなさま (H26.4.1~5.31)

(山形県みどり推進機構取扱い分)

(株)阿部林業、(株)エイアンドシー、大石田ライオンズクラブ、尾花沢中央ロータリークラブ、上山ロータリークラブ、山形県国際交流協会、寒河江ロータリークラブ、佐久間会計事務所、サニーヒル菅沢、新庄信用金庫、全国共済農業協同組合連合会山形県本部、全国健康保険協会山形支部、全国農業協同組合連合会山形県支部、立川ロータリークラブ、天童西ロータリークラブ、天童ロータリークラブ、東部土地改良区、中山ロータリークラブ、南陽東ロータリークラブ、西置賜ふるさと森林組合、日本自動車販売協会連合会山形県支部、農林中央金庫山形支店、長谷川建設(株)、(株)ファイデア総合研究所、(有)フジハラ自動車、本間利雄設計事務所、(有)丸三製材所、村山生コン(株)、村山ローズロータリークラブ、村山ロータリークラブ、山形北ロータリークラブ、山形県医師会、山形県後期高齢者医療広域連合、山形県産業技術振興機構、山形県市長会、山形県市町村職員共済組合、山形県社会福祉協議会、山形県商工会連合会、山形県職業能力開発協会、山形県私立学校総連合会、山形県信用保証協会、山形県中小企業団体中央会、山形県町村会、山形県土地改良事業団体連合会、山形県農業協同組合中央会、(株)山形城南木材市場、山形農業協同組合、山形東ロータリークラブ、山形南ロータリークラブ、遊佐ロータリークラブ  
(敬称略、五十音順)

ご協力ありがとうございました。

### ◆緑の募金感謝状贈呈団体

- ・株式会社山形銀行
- ・佐久間会計事務所
- ・株式会社シェルター

もあって、スタジアム周辺は多くの人で賑わい、たくさんの善意が寄せられました。

また、県の関係者による全国育樹祭や映画「WOOD JOB！」のPR、村山産業高校バイオテクノロジー部員によるオキナグサ保護活動の紹介なども併せて行い、みどりの日の前日に、緑や自然、森林の大切さなどを広くアピールすることができました。



ピッチ上でPRを行う県の担当者とどんぐりくん



みどりのページ

す。

(公財) 山形県みどり

推進機構

**平成二十六年度緑化推進事業  
助成金の交付決定について**

今年度の緑化推進事業助成金の交付団体は、四月十七日に開催された当財団助成事業選考委員会の審査を経て決定しました。

今年度も県内各地のボランティア団体等からの応募が多くあり、また、事業の内容についても、地域の特性を活かした特色ある取組みや地域の緑を守る地道な活動など、幅広い活動内容となっています。これは、環境緑化や森づくり活動などへの関心の高まりの表れであると思われます。

事業区分ごとの採択件数は、「都市・農山村の環境緑化整備事業」が二十三件、「都市・農山村の環境緑化維持管理事業」が二十六件、「県土緑化の普及啓発、調査研究事業」が三件、「森林環境教育事業」が四件でした。

また、緑のまちづくり支援モデル事業として「地域の里山再生支援モデル事業」が一件、「緑の地域づくりモデル事業」は三件を採択しました。

事業一覧は下表のとおりです。

平成26年度 公益財団法人山形県みどり推進機構 緑化推進事業交付決定一覧表

事業項目	所在地	申請者名	助成額(円)	事業項目	所在地	申請者名	助成額(円)
都市・農山村の環境緑化維持管理事業	米沢市	米沢市立第六中学校	100,000	都市・農山村の環境緑化整備事業	南陽市	岩部山三十三観音保存会	152,000
	長井市	古代の丘縄文の森を守る会	96,000		山辺町	白鷹山参道を守る会	228,000
	山形市	館山会	67,000		寒河江市	慈恩寺共有山林組合	156,000
	山形市	西山形花の会	100,000		鶴岡市	花咲く里山温海支部委員会	300,000
	長井市	花と緑・環境の会	100,000		鶴岡市	温海温泉自治会	259,000
	山辺町	根際地区山道等維持管理会	100,000		鶴岡市	花咲く里山朝日支部委員会	300,000
	鶴岡市	鶴岡コミュニティガーデン	100,000		酒田市	大町アヤメ愛好会	180,000
	真室川町	飫山探究会	100,000		小国町	舟渡公民館	217,000
	飯豊町	東山友志会	100,000		南陽市	NPO法人美しいやまがた森林活動支援センター	300,000
	中山町	達磨寺田植踊保存会	100,000		金山町	上台地区	250,000
	西川町	石田町内会	70,000		西川町	西川のまちづくり応援団	231,000
	山辺町	大蕨棚田さくら公園設置管理委員会	100,000		山形市	村山犬川と親しむ会	162,000
	遊佐町	西遊佐地区まちづくりの会	100,000		小国町	上大石沢地区会	298,000
	金山町	金山町羽場地区自治会	98,000		天童市	津山の自然を守る会	208,000
	金山町	羽場地区ボランティアグループ	100,000		天童市	上貫津町内会	173,000
	長井市	長井市舟場地区	100,000		米沢市	ネイチャーフロント米沢	110,000
	鶴岡市	山五十川自治会	100,000		上山市	NPO法人上山まちづくり塾	125,000
	山形市	山形県緑を育てる女性の会	91,000		庄内町	あまるめさくら咲多会	270,000
	中山町	月山土橋桜遊会	95,000		金山町	安沢地区	205,000
	天童市	立谷川の花さかじいさん	100,000		南陽市	金山むらづくり委員会	102,000
	山辺町	杉下シダレザクラ保存会	48,000		山辺町	ヒメサユリを植える会	100,000
	長井市	岡鼠原のみ会	55,000		飯豊町	上郷地区緑化推進協議会	260,000
	金山町	楯山を愛する会	100,000		金山町	ともいく	300,000
	金山町	有屋地域公民館連絡協議会	88,000	県土緑化の普及啓発・調査研究事業	酒田市	(一社) 庄内森林保全協会	95,000
	鶴岡市	鶴岡市温海第3地区公民館	100,000		山形市	山形グリーンライフ女性の会	100,000
	西川町	西川町梅沢町内会会館運営委員会	100,000		小国町	NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊	90,000
	教育林事環境	金山町 遊学の森案内人会	100,000				
	酒田市	万里の松原に親しむ会	100,000				
	米沢市	三沢地区学校林整備委員会	100,000				
	山形市	山形県林業士会	100,000				

平成26年度 公益財団法人山形県みどり推進機構 緑のまちづくり支援モデル事業交付決定一覧表

事業項目	所在地	申請者名	事業概要	助成額(円)
地域の里山再生支援モデル事業	最上町	緑を愛する会	「芭蕉の森」と「復興絆の森」の育樹事業	550,000
緑の地域づくりモデル事業	飯豊町	手ノ子地区協議会	「里山の森」の再生事業	642,000
	尾花沢市	福原ふるさと塾	「田んぼアート」を通じて、地域づくり事業	462,000
	白鷹町	羽黒の森を守る会	羽黒の森の景観保全と文化交流事業	530,000

# やまがた緑環境税事業 荒廃森林緊急整備事業について

県では、平成十九年度より「やまがた緑環境税」を活用し、県民生活に大きな影響を及ぼす恐れのある管理放棄された荒廃森林を『荒廃森林緊急整備事業』として整備しております。今年で八年目をむかえます。

このたび、平成二十五年度の事業実績がまとまりましたので、平成二十六年度の事業計画とあわせて紹介します。

## ◆森林整備事業の内容

森林整備事業としては、下段参考のとおり『針広混交林整備』、『長期育成林整備』、『里山林整備』の三タイプを実施しています。

平成二十三年度には、事業内容の見直しを行い、平成二十四年度からは、針広混交林整備及び長期育成林整備の一部に国庫補助金の活用を図ることとし、森林組合等が事業主体となり実施しています。また市町村が事業主体となる景観整備を追加し、幹線道路沿いなどの景観が悪化している森林の解消や、野生動物出没の増加に伴い、人と動物の共存に向けた緩衝林帯の整備を実施しています。

平成二十三年度には、事業内容の見直しを行い、平成二十四年度からは、針広混交林整備及び長期育成林整備の一部に国庫補助金の活用を図ることとし、森林組合等が事業主体となり実施しています。また市町村が事業主体となる景観整備を追加し、幹線道路沿いなどの景観が悪化している森林の解消や、野生動物出没の増加に伴い、人と動物の共存に向けた緩衝林帯の整備を実施しています。

今後とも、「やまがた緑環境税」を財源とした荒廃森林の整備について周知を図り、着実に進めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

〔県林業振興課〕

## ◆平成25年度荒廃森林緊急整備事業実績

区分	事業主体	面積(ha)
針広混交林整備	県	44.6
	県	440.3
長期育成林整備	森林組合	243.6
	小計	683.9
	県	401.2
里山林整備	市町村	71.5
	小計	472.7
	計	1,201.2

進捗率		
全体計画(ha)	H19～H25整備面積(ha)	進捗率(%)
11,600	8,597	74%

◆平成二十五年度整備面積と進捗状況の荒廃森林を整備し、全体計画に対する進捗率は七四%となっています。

## 〈平成26年度荒廃森林緊急整備事業（事業量 1,520ha 事業費 613.149千円 内やまがた緑環境税 447,169千円）〉

### ■水源かん養など公益的機能の高い森林を育成（針広混交林整備）

事業量 90ha 29,894千円

（緑環境税26,930千円、国庫補助金：2,964千円）

スギ人工林に広葉樹を導入するための強度の間伐及びこれに必要な森林作業道の設置



やまがた緑環境税による整備  
森林整備 70ha  
事業主体：県  
事業形態：委託事業

平成24年度から  
新たに追加された体系  
針広混交林化を進めることを目的とする国庫補助事業の活用（環境林整備事業）  
森林整備 20ha  
事業主体：県  
事業形態：委託事業

### 平成26年度の取組み



国庫補助事業を活用した水源かん養機能の維持増進のための針広混交林の整備

### ■スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開（長期育成林整備）

事業量 870ha 392,802千円

（緑環境税 229,786千円、国庫補助金等：163,016千円）

間伐及びこれに必要な森林作業道の設置など、森林組合等が森林所有者に代わって施業を一元管理し、森林の公益的機能を維持する仕組みを構築



やまがた緑環境税による整備  
森林整備 370ha  
事業主体：県  
事業形態：委託事業

面的にまとめを持って搬出間伐を行う目的とする国庫補助事業の活用（森林環境保全直接支援事業）  
森林整備 500ha  
事業主体：森林組合等事業体  
事業形態：補助事業

森林経営計画内の荒廃森林の間伐と作業道の推進による、健全な森林経営の推進

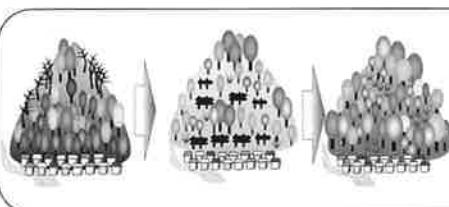


森林経営計画内の荒廃森林の間伐と作業道の推進による、健全な森林経営の推進

### ■病害虫などで荒廃した里山林の再生（190,453里山林整備）

事業量 560ha 190,453千円（緑環境税 千円）

病害虫被害木の伐採、広葉樹の植栽、簡易土留柵の設置など



やまがた緑環境税による整備  
森林整備 410ha  
事業主体：県  
事業形態：委託事業

幹線道路沿いなどにある景観悪化林の解消及び野生生物との緩衝帯設置を目的とした森林整備に対する補助事業  
森林整備 150ha  
事業主体：市町村  
事業形態：補助事業



全国育樹祭の開催に向けた森林景観整備の推進  
人と動物との共存林の整備の推進

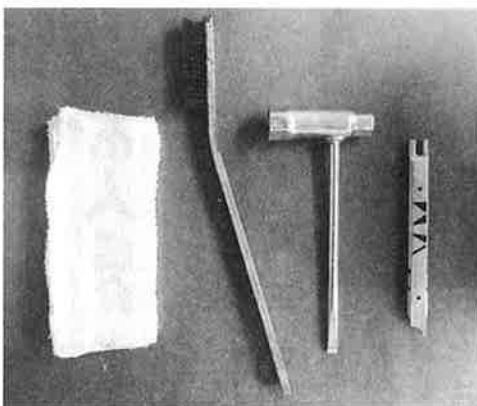
# チエーンソー メンテナンスのポイント

森林研究研修センターでは、林業関係の学科を専攻している高校生や森林経営者、林業従事者等を対象にチエーンソーに関する研修を開催しています。今回は、初心者でも実践できるメンテナンスの方法と目立ての基本について解説します。

## 【メンテナンスの方法】

チエーンソーのメンテナンスは、使用後にボディーをきれいに掃除することと外部から見える異常の有無を点検することが基本です。

①木屑や油の汚れを布や細い棒又は洗油などで掃除します。あわせて、ねじ類のゆるみや脱落、部品の損傷や変形も確認します。



最低限必要な清掃用具等  
(ウェス・ブラシ・プラグレンチ  
デプスゲージジョインター)



ガイドバー溝の清掃

②エアクリーナーを取り出し、よくはたいてゴミを落とします。目詰まりしていると、エンジンの回転が上がらないばかりでなく、始動が困難になることがあります。汚れや傷みに応じて交換します。

③ガイドバーとソーチエーンを外しガイドバー溝の汚れを鉄板片などできれいに取り除きます。溝が詰まっていると、チエーンオイルの潤滑が不良となり、それに伴う障害が起きます。ガイドバーを取り付ける際は上下を反転して使うと摩耗が均一になります。ガイドバーを固定する際はソーチエーンの欠け、割れなどの損傷が著しい場合は交換します。

目立てのポイントは、次のとおりです。

①チエーンソーとソーチエーンは、必ず固定して目立てをすること。

②丸ヤスリは、ソーチエーンの種類、寸法などに応じて指定された径のものを使用すること。また、使用して短くなつたカッターの目立ては、1サイズ細い丸ヤスリを使用すること。

③ヤスリは、切れ味を生かして軽く押して擦り、むやみに力を入れず、往復で使わないこと。

④丸ヤスリは、径の五分の一ぐらいいをカッターの上に出し、所定の上刃目立て角にして、水平に当てること。

⑤横刃の形をフック型やバックスロープ型にしないよう注意すること。  
⑥長さの一番短いカッターから目立てを行い、他のカッターはこれと同じ長さになるようにすること。

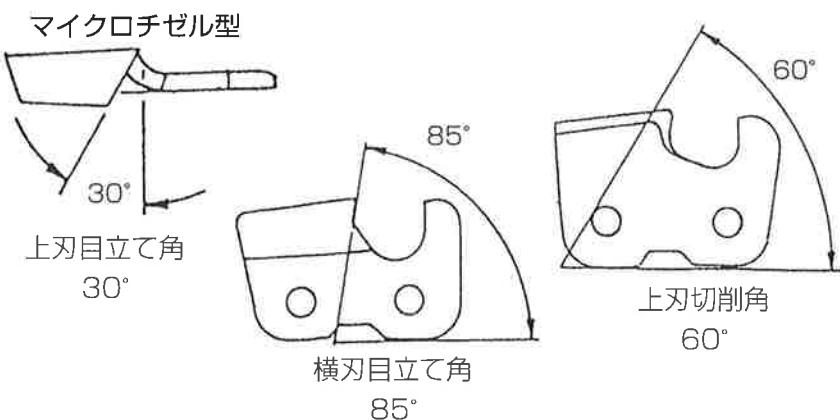
チエーンソーは、少々目立てが悪くてもエンジンの力で時間をかければ切れますが、切れないので木を切ると、効率が悪く、体は疲れ、振動障害の面からもよくありません。

チエーンソーを使用して、安全で能率の良い仕事をするためには、正しい目立てが大切です。

## 【目立ての基本】

右図のように、ソーチエーンの品番によつて目立て角や丸ヤスリの径が指定されていますので、必ず確認してください。

以上、要点のみの解説となりましたが、ベテランの方も初心者も基本メンテナンスについてもう一度見直してみてはいかがでしょうか。



## 森の人紹介

林業を振興する

森林施業プランナー

富岡正之さん



米沢地方  
森林組合の  
富岡正之さ  
んをご紹介  
します。

富岡さんは、米沢地方森林組合の  
販売林産課長で、認定森林施業プラ  
ンナーです。以下インタビュー形式。

▼よければ、経歴をお聞かせ下さい。

「森林組合に就職する前は、秋田県  
湯沢市にある北日本索道株式会社に  
勤務していました。素材生産やチッ  
プ、製材関係の会社です。年間二万  
t<sup>3</sup>を伐採しており、入社  
当時は、鉛筆とノートと定規を持つ  
て、トラック土場にて検収作業ばか  
りしていました。その後、下積みを  
終えて、集材機の運転を任されるよ  
うになりました。林業架線作業主任  
者免許等林業に必要な資格はひとつ  
おり持っています。

米沢の実家へ戻ることになり、会  
社から米沢地方森林組合を紹介して  
頂き、就職することが出来ました。」

〔置賜総合支庁森林整備課〕

▼平成二十四年度に、森林施業プランナーに認定されたと聞きましたが、認定試験を受けたきっかけは、「遠藤参事からの「行つて来い」の一言から始まりました。基礎研修、ステップアップ研修を受講し、筆記試験を受け、レポートを提出(特別試験)し、やつとの思いで合格しました。」

▼今担当業務(仕事内容)は、「事業部門(販売、林産、森林経営計画)です。今は特に、提案型集約化施業を中心に行っています。境界関係が大変むずかしいです。」

▼まさに、森林施業プランナーの仕事ですね。これから目標・豊富は。

「組合員のためのも、森林経営計画を作成し、木を伐って、売つて、森林所有者に還元して行きたい。また、森林組合経営にも関わることなので、より多くの集約化を目指して行きた  
いと考えています。」

▼最後に、後輩へ一言。  
「植林から丸太販売までトータルで、組合員に提案出来る様なスキルを持つてもらいたいと思っています。」

②これまで策定した森林経営計画  
一件二百六十ヘクタールを策定

中です。

③プランナーとしてのモットー

## 森の人紹介

森林施業プランナー

長谷川義晃さん



庄内で活躍  
している森林  
施業プランナ  
ー紹介の二回  
目です。

今回は、温海町森林組合の長谷川  
義晃さんに質問を行いました。

森林所有者との対話が最重要です。まず森林所有者が何を求めているかを確認し、その上で納得していただけるようなプランを提示します。施業中も森林所有者とは積極的に連絡・対話をを行い、施業完了時には森林所有者・森林組合ともに満足できるよう努めます。

④プランナーとしての目標

森林所有者と対話してよく耳にする言葉が「山林なんて持つていても何の価値もない」「早く手放したい」等です。搬出施業等を実施することにより、所有者に少しでも多く利益を還元し、健全な山林にすることで価値を向上させ、森林所有者に「山林を持っていてよかったです」と言つていただけることを目標とします。

そこで戦力となるべく、計画作成からコスト管理、集約化搬出間伐等の基礎知識・技術を習得するため、森林施業プランナーを目指しました。

長谷川さんは、主に路網整備や森林境界の明確化の業務を担当されており、これらの経験をもとに、平成二十五年度山形県治山林道研究発表会で「集約化搬出施業における林業専用道について」と題して発表を行い、優秀賞を受賞されました。

〔庄内総合支庁森林整備課〕

## 第三十八回全国育樹祭の準備状況

皆様の御支援、御協力のもと、第三十八回全国育樹祭の準備は着々と進んでおります。

今号では、式典会場を彩る飾花にあたたかみを添える木製プランター

カバーの製作会第一弾と、式典行事の中で行われる緑の贈呈用苗木の生育状況をお伝えいたします。

### ◆木製プランター カバー製作会 in 「やまがた森の感謝祭2014」

別貢で大きく取り上げていただいている「やまがた森の感謝祭2014」

4（六月七日）で、来場者の皆様に木製プランター カバーを作っていたときました。



▼やまがた森の感謝祭でのプランター製作会の様子

釘が曲がらないように、指を打たないように、真剣な表情で取り組んでくれました。

### ◆緑の贈呈用苗木の育成状況

式典行事の中で、県内の子どもたちから、県外の子どもたちへ、樹木

の苗木を贈ります。この苗木は開催までの間、前半は森林研究研修センターで、後半は県内の緑の少年団にバトンタッチして、大事に育ててもらいます。五月上旬、緑の少年団の皆さんに託す苗の状況を確認するため、鶴岡市羽黒にある森林研究研修センターの林木育種園に行つてまいりました。

当日はあいにくの雨でしたが、晴れ間を縫つて、あるいはテントの中

で、たくさんの少年団員と来場者の間を繰り返し十年か

けて生み出された抵抗性クロマツ。

羽黒山の広々とした自然の中で、

カツラ、ケヤキはそれぞれの栽培ボ

ットで、スギとクロマツは苗畑のうねで、すくすくと育っていました。



育苗中の抵抗性クロマツ

六月以降は、遊佐町、最上町、東根市、白鷗町で、緑の少年団の皆さんに育ててもらっています。十月まで、よろしくお願ひしますね。

### ◆おわりに

早いもので、七月四日に育樹祭本番百日前を迎えます。五日には百日前イベントとして、七日町ナイトバザールにお邪魔します。併催・記念行事の具体的な内容も固まり、県の実施本部も立ち上がりました。スタッフとして育樹祭を盛り上げてくださる皆様、成功に向けて、どうぞよろしくお願いします。

カツラ、ケヤキ、ブナ、無花粉スギ、そして交配と選抜を繰り返し十年か

れていた時はトラック一台分だったものが、終盤で整然と山のように積み合わせて完成させます。

〔県みどり自然課〕

フェイスブックを始めました←  
「十育樹祭通信+」

どなたでもご覧になれます。



# やまがた緑環境税を活用した森林環境学習の推進 ボケット版「森のたんけん手帳」を作成しました



山形県では、森林や自然環境に対する理解の向上を目的として、小学校五年生社会科で活用できる副教材を県内の全小学校に配布し、授業等で活用いただきました。

今回、やまがた緑県民会議のご意見や森林環境学習現場の要望を受け、野外活動プログラムや留意事項を携帯用にまとめたボケット版「森のたんけん手帳」を作成しました。

「森のたんけん手帳」は県内すべての小学校に配布するほか、県民の森、遊学の森、源流の森、眺海の森や少年自然の家、県みどり自然課で無料配布しています。

イラストや写真をたくさん掲載し、子供たちにも分かりやすい内容となっていますので、ぜひご活用ください。

- ◆ 内容
- ① 森のルール
- ・ 森に出かける時の服装
- ・ 危険な植物や生き物に気をつけよう！
- ・ 森のマナー
- ・ 森の音
- ・ 森の色
- ・ 同じ色を探してみよう

**森のルール**  
楽しく安全に活動するために大切なこと

森に出かける時の服装

ちょっと暑くとも、長そで長ズボンで出かけましょう。ケガや虫さされを防ぎます。ぼうしもはずれずにかぶります。

【森のマナー】

美しいことがいっぱいの森のなか、いつでも美しい森を残していくために、次のマナーを守って、安全に楽しく活動しましょう。

- ・ 森のマナー
- ・ 森の音
- ・ 森の色
- ・ 同じ色を探してみよう

**森のたんけんに**

**出かけよう**

森にはひいきなのがいっぱい！ 体せんたいを使って森を楽しもう!!

森のすがた

森ってなんだろう？  
近くにある森、近くにある森。  
向がちがうのかな??

やつてみよう

森のすがたをスケッチしてみよう！

遠くから森を見わたしてみましょう。  
いいね。うれしい。  
もこもこの木の木。とがった形の木。

まわりにある家や学校、田んぼや湖、川などもスケッチしてみましょう。

◆ おわりに

今後は、モニターランケートなどにより子供たちの意見を取り入れ、より使いやすいように内容を充実させていく予定です。また、県では、授業や学年行事等での「森のたんけん手帳」を使った野外活動をサポートする指導者の派遣も行っておりまますので、担当までお問い合わせください。

【担当】 山形県環境エネルギー部  
みどり自然課みどり環境担当  
電話 023-630-2206

- ② 森のたんけんに出かけよう
  - ・ 森のすがた
  - ・ 森の音を数えてみよう
  - ・ 森の色
  - ・ 同じ色を探してみよう
  - ・ 森の音
  - ・ 森の色
  - ・ 同じ色を探してみよう
- (葉っぱをこすつてみよう)
- (スケッチしてみよう)
- (森のすがた)
- (葉っぱをこすつてみよう)
- (森の音を数えてみよう)
- (森の色)
- (同じ色を探してみよう)
- (森の音)
- (森の色)
- (同じ色を探してみよう)

**葉っぱたんけん10**

森にはたくさんの葉っぱがあります。色んな形の木や葉っぱがたくさん！

ここでは山形県に多く分布する樹木を少しだけ紹介します。

「この木 収の木？」

みんなで色々な木を探しに行こう！

**ブナ**

ブナ科の落葉樹木。木の高さは20m以上にもなる。葉はだ円形で、縁は鋸歯になる。若い葉には軟らかい毛がある。

葉は裏面がざらざらで、ウサギなどの山の動物たちの食料になります。

## **森林整備促進・林業等再生基金事業を活用した取り組み 木造公共施設の整備と木質バイオマスボイラーカーの導入**

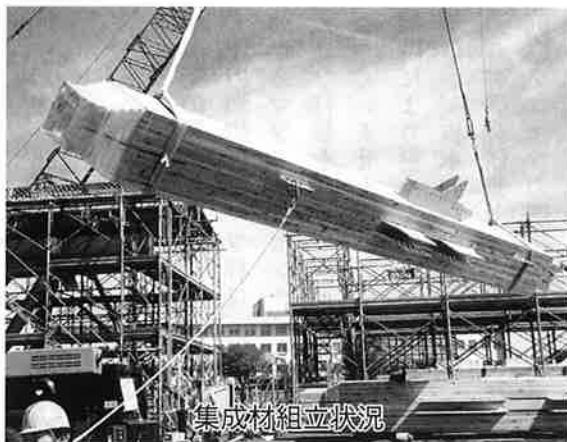
今年度もやります  
「おきたま森の恵み起業塾」

はじめに

山形県森林整備促進・林業等再生  
基金事業等を活用し、南陽市が整備  
を進めている全国初となる木造耐火  
構造の新文化ホールと、木質バイオ  
マスボイラー導入の取組みについて  
紹介します。

◆地元の杉材を使用し、木を現した木造耐火建築物の実用化

集成材使用量  
三千五百七十<sup>3</sup>m  
(原木使用量  
二万二千四百一十三<sup>3</sup>m)



### 集成材組立狀況



## チップ焚きポイラー

◆再生可能エネルギーへの取組み

木の『燃え止まり』の性質を活用し、スギの構造部材を吉野石膏ボードで耐火被覆し、所定の耐火性能を確保する新しい技術が山形県内の企業により開発され、ようやく実用化の見通しがつき、今までにない耐火木造による公共建築物が南陽市に平成二十七年に誕生する予定です。

年間六百トンの未利用材を消費する冷暖房にはチップボイラーやを採用

## ◆再生可能エネルギーへの取組み

年間六百トンの未利用材を消費する

予定となつています。

予定となっています。

◆事業概要

◆事業概要  
確保と、生産者組織の立ち上げ・強化等を図ることを目的として「おきたま森の恵み起業塾」の取り組みを行っています。

「おぎたま森の恵み起業塾」は平成二十五年度から二十八年度まで四年間の研修受講等により、経営者として自立できる生産者の育成を目指しています。

平成二十五年度は「山菜」・「きのこ」・「木炭」・「販売」の四分野を設定し、各分野の先駆的実践者や専門家等を講師として、現地研修等も組み込んだ基礎的知識・技術の習得を目的として技術講座等を開催したところ、延べ一五五名が参加し、うち二団体は新規生産者となつています。



## ワラビポット苗作成状況

おきたま森の恵み起業塾

## ◆今後の取り組み

平成二十六年度からは、「山菜」

「きのこ」・「木炭」・「販売」の分野別毎に、より専門的な短期就業研修や専門家派遣、流通販売に対する検討会などを開催する予定です。

「おきたま森の恵み起業塾」の受講者の多くが、経営者として自立て、専用林産物の生産量が増加し、将来は六次産業化に結び付き、所得の安定・増加につながることを期待

〔置賜総合支庁森林整備課〕

# クロマツコンテナ苗木 生産技術定着化事業について

## ◆事業の背景と目的

庄内海岸クロマツ林は、三十年程前からマツノザイセンチュウ被害で大きな打撃を受け、現在も終息には至っていません。これに対し、関係機関により懸命な防除が行われているほか、抜本的な対策として、山形県森林研究研修センターを中心に抵抗性クロマツの選抜が行われ、平成三十年を中途に抵抗性クロマツの種子を採取できる見通しがたちました。

今後、庄内海岸林を抵抗性苗で更新していくためには、苗木の更なる安定供給が求められることになります。さらに、苗木生産体制は全国的に大きく変化しており、高効率で育苗期間が短縮できる『キャビティコンテナ』苗木への移行が進んでいます。

そこで、『本県においてもキャビティコンテナによるクロマツ苗木の生産が可能か』、『本県に適合した生産技術はどのようなものか』、『生産の歩掛はどうか』を検討し、生産技術の定着化を図るため事業を実施しました。

## ◆事業の内容

事業は、従来のクロマツ苗木育苗技術を有する指導者の下、新規の栽培者が実施しました。内容は、

- ① コンテナへの培養土の詰込みと一穴あたり一粒の種の播きつけ
- ② 空中根切りに必要な育苗棚の設置
- ③ 灌水、棚からの上げおろし等の苗木生産に必要な作業の検討
- ④ コンテナからの苗の抜き取り、規格の調整等の出荷に必要な作業の検討



- ⑤ 育てたコンテナ苗の試験植栽
- ⑥ 冬季から春季にかけての播きつけによる発芽時期等の調査
- ⑦ これら①から⑥の工程・歩掛調査

○ 施肥

五千本の苗木に六月から九月までの四回、粒状肥料を与えました。作業性の面から液肥の使用や微量元素の欠乏についても検討する必要があると感じました。



## ⑥ 歩掛の調査

今回の試験で、百五十ccコンテナは一本当たり百五十九・七円、三百

ccコンテナは一本当たり百八十三・三円という結果が得られました。

## ◆今後について

更なる低コスト化を目指し、育苗方法の検討・定着化を図っていきます。

〔庄内総合支庁森林整備課〕

防止のため、薬剤の使用を検討する必要があることがわかりました。三月中旬に播きつけたものは五月上旬に発芽しました。

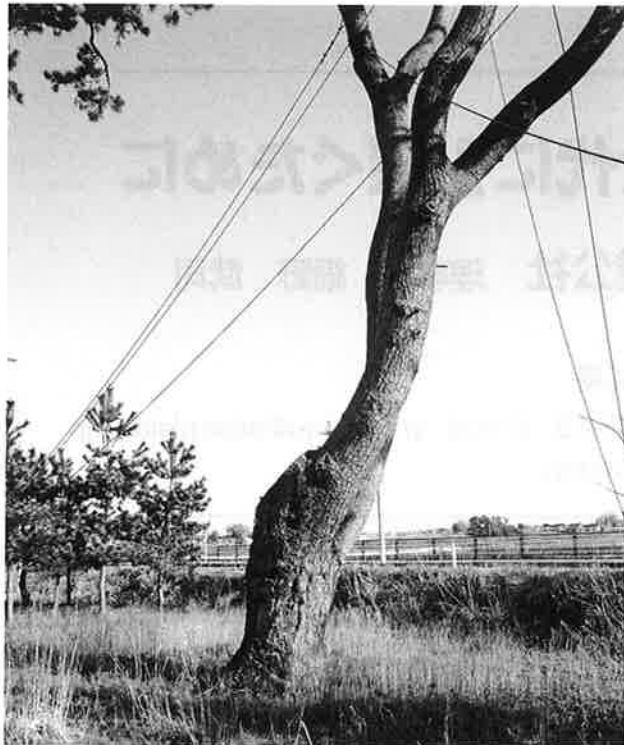
ました。

市販の抜取機が非常に高価であるため、材料を購入して自作し、抜き取りを行いました。選別は全国的な基準が未作成のため、五センチメートル刻みで行いました。

市販の抜取機が非常に高価であるため、材料を購入して自作し、抜き取りを行いました。選別は全国的な基準が未作成のため、五センチメートル刻みで行いました。

## 舟つなぎの松

東田川郡庄内町南野



〔山形県森林協会〕

国道四七号線を走行していると、路傍に大きなクロマツが見えてきます。現在は当地の東方二キロメートルほどを流れる最上川は、正保三年（一六四八）頃の正保莊内絵図によると、湾曲してこの付近を流れています。その当時に舟をつないだことから「舟つなぎのマツ」とよばれています。

根周五・六四m、目通周四・一m、樹高十八・二七mで、最上川の河川交通史上、貴重であり、平成元年十月二十三日に町天然記念物に指定されています。



（案内略図）

### 外観



完成年度 平成24年度  
延床面積 116m<sup>2</sup> (1棟当たり)

構 造 木造二階建て

特 徴 金山住宅の様式を公営住宅に採用し、街並みに溶け込んだ風情を醸し出している。子育て中心の家族の入居を想定し、竣工後7年半経過後は、入居者が購入可能であり、かつ増築可能な土地を確保している。また、雪深い朝の通勤に対応するためビルト・イン・ガレージを採用している。

構造は変化するが、年間4棟、5年間で20棟を建設予定。

### 公共木造施設 ⑧

## 街なか町営住宅

最上郡金山町大字金山



# あなたの森林資産を守ります

## 森林国営保険

お申し込みは、お近くの森林組合窓口へ

山形県林業振興課 TEL 023-630-2529



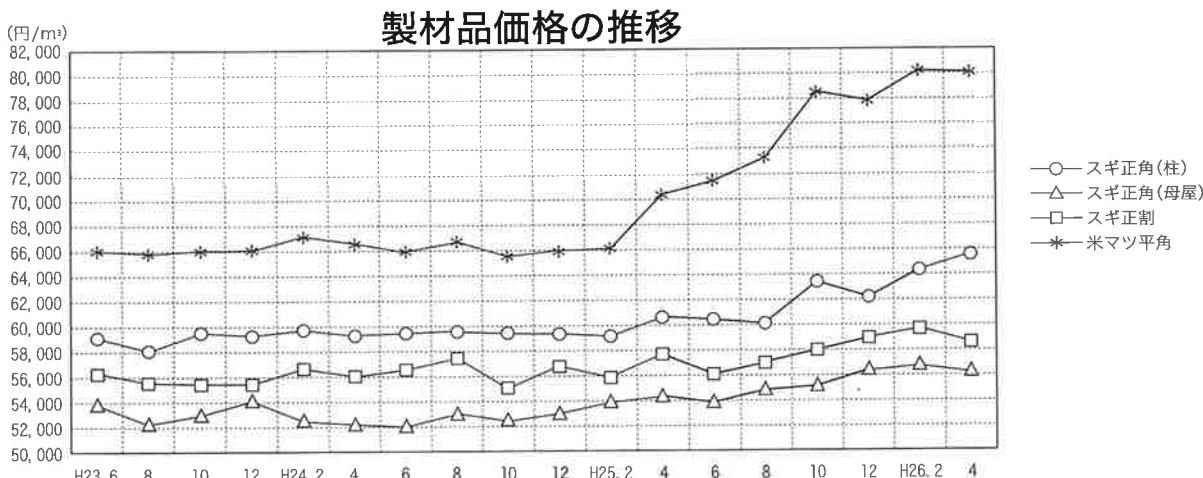
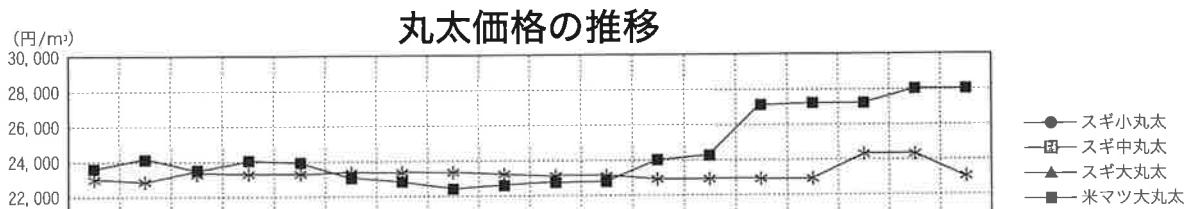
# みどりの財産を次世代に引継ぐために

公益財団法人 山形県林業公社 理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265番

TEL 023-666-6348 FAX 023-689-9348 E-mail : yr-ringyou@atlas.plala.or.jp

ホームページ : <http://business3.plala.or.jp/y-rkousy/>



「治山施設」の現状で、土砂災害を防止・軽減できますか

「林道施設」の現状で、森林を整備・利活用できますか

会長	東南村山支部長	堀川 隆志	羽陽建設(株)	理事	西村山支部長	後藤吉比己	後藤建設(株)
副会長	新庄支部長	永井 敏行	永井建設(株)	理事	庄内支部長	本間 敏英	鶴岡建設(株)
副会長	北村山支部長	小野 勉	小野建設(株)	監事	東南村山支部	花輪 完治	花輪建設(株)
理事	置賜支部長	那須 正	那須建設(株)	監事	西村山支部	佐藤 欣司	大東建設(株)

山形県森林土木建設業協会 ◇事務所:山形市あさひ町16-21

TEL(023)632-3893 FAX(023)632-5454 E-mail : info@y-sinrin.jp